

Heart of Tajimi
—たじみ市民討議会2017—

実施報告書



2017年 12 月
たじみ市民討議会 実行委員会

目 次

1. はじめに	1
2. 協賛者ご挨拶	2
3. たじみ市民討議会 2017 について	3
3-1 歩み	3
3-2 多治見市との協定締結	3
3-3 運営組織	3
3-4 活動の理念と方針	4
3-5 活動計画と実績	4
4. たじみ市民討議会 2017 実施について	5
4-1 テーマ選定	5
4-2 多治見市と協定締結	5
4-3 参加者について	5
4-4 謝礼	5
4-5 情報提供について	6
4-6 話し合いの方法とルール	6
5. たじみ市民討議会 2017 の結果と市民からの意見『提言書』	6
6. 『たじみ市民討議会 2017』の検証	9
7. 今後の課題と取組	9
8. おわりに(主催者ご挨拶)	10
資料1. 話し合いシート	11
資料2. 参加者アンケート	35

1. はじめに

本報告書は『たじみ市民討議会実行委員会』が多治見市役所と協定を締結し、(一社)多治見青年会議所の協賛を得て実施した『Heart of Tajimi-たじみ市民討議会 2017-』について報告するものである。

『たじみ市民討議会 2017』は、6月3日、4日に多治見市民30人の参加を得て実施した。基本コンセプトとして『にぎわいのあるまち多治見』を掲げ、多治見のまちがにぎわうために市民として何ができるか、また行政に対して何を提言すべきかについて、それぞれの居住地域・多治見駅周辺・多治見市全域について3つのテーマで意見交換をしていただいた。その結果を精査、集計・分析して、市民の意見として多治見市政に資するべく市長へ『提言』を行った。



2. 協賛者ご挨拶

この報告書は、多治見市と（一社）多治見青年会議所と市民討議会実行委員会が、たじみ市民討議会実施における協定書を結び、「にぎわいのあるまち多治見」をテーマに実施した「Heart of Tajimi -たじみ市民討議会 2017-」の結果を集計・分析し、市民提言として多治見市に提出すること、さらに市民協働のまちづくりを推進していくにあたり、今後の展開を考慮しマニュアル化することを目的にまとめたものです。市民討議会は、市民の平均的意見、無言の多数派（サイレント・マジョリティ）を収集し、市政に反映させていくドイツで誕生したプラヌンクスツェレという手法を応用し「市民の声・社会の声」を行政に反映させていく仕組みとして、2009年に（一社）多治見青年会議所が企画立案し、多治見市との共催で第1回を開催したのが始まりです。我々は「市民の声を行政に届ける」といった市民と行政のパイプ役を担うことが重要な役割であると考えております。

今年で9年目となる市民討議会ですが、今回特筆すべきは公職選挙法改正に伴い10代の意見を取り込む試みとして、無作為抽出対象者に18歳、19歳を新たに加えたことです。そして、2013年以降、実行委員長を市民ボランティアスタッフから輩出し6年目を迎えますが、今年初めて実行委員会の組織・運営・テーマの選定、当日の設営や人事、提言書の作成に至るまで市民ボランティアスタッフのみで取り組むことができました。多くの議論を重ね、討議会の質を高めようとする実行委員会メンバーの姿、討議会に参加していただいた方々の活発な意見交換をする姿を拝見し、我々（一社）多治見青年会議所の目指す「真の市民主導によるまちづくり」に向け、市民の皆様が積極的に参画していく確かな一歩を刻んでいただく事が出来たと感じています。今後も、たじみの未来を真剣に考え、自分たちのまちは自分たちがつくるという自治意識を持った市民と行政による協働のまちづくりが継続的且つ発展的に推進されていくことを切に願います。

結びに、たじみ市民討議会を開催するにあたり、討議に参加していただいた市民の皆様、行政関係者の皆様、実行委員会の皆様に心より感謝申し上げます。



（一社）多治見青年会議所
共助愛溢れるまちの創造委員会
委員長 小澤全和

3. たじみ市民討議会 2017 について

3-1 歩み

『市民討議会』は 1970 年代にドイツで提唱された『プラーヌクスツェレ』（計画細胞）を参考に 2009 年（平成 21 年）に、（一社）多治見青年会議所が『Heart of Tajimiーたじみ市民討議会 2009ー』として第 1 回を実施し、第 5 回以降は市民による実行委員会を組織して毎年実施している。

3-2 多治見市との協定締結

『Heart of Tajimiーたじみ市民討議会 2017ー』を実施するにあたり、実行委員会と多治見市との間で 4 月 24 日に協定を締結した。協定の内容は①実施の目的を明確にし、②協働に関する原則の確認、③相互の役割と責務についてなどである。



3-3 運営組織

実行委員会は市民委員 20 人で以下のように組織した

- ・実行委員長 1 人と副委員長 2 人で会を代表し、運営委員会（8 人）を設置した
- ・必要に応じて運営委員を召集して会の運営にあたった。会では書記を特定せず、都度指名して委員のモチベーションの維持に努めた。その他会計 1 人、会計監査 2 人を設置した
- ・（一社）多治見青年会議所には種々助言をいただき、多治見市秘書広報課職員には協定に則り助言いただいた

3-4 活動の理念と方針

○活動理念として、以下2点を掲げた。

1. 『多治見らしい』実行委員会の運営
2. 『協働する』市民意識の啓発

○活動方針を以下のように示した。

1. 多治見市および(一社)多治見青年会議所の協力と助言を尊重する。
2. 運営委員会を設置し、実行委員会の円滑な運営を図る。
3. オブザーバーはこれを拒まない。
4. 討議会では参加市民の発言を促し、意見のまとめを手伝う補助係として進行を支援する。
5. 『提言書』策定については全員が携わり、中間報告会で参加市民の承認を得て多治見市長に提出する。
6. 実施報告書を作成して、記録を残すと同時に効果の検証および課題を明確にして以後の活動の参考とする。
7. 節目で反省会を開催し、活動を振り返り相互の親睦を図る。

3-5 活動計画と実績

○活動計画

平成28年11月に新しい実行委員会を組織して、キックオフ(自己紹介・組織編制など)。12月に活動方針や活動計画を共有、1月から本格的な活動を開始した。

平成29年1月～2月	テーマ選定(方向性について)(3回)
2月～4月	テーマ選定(討議テーマについて)(4回)
4月	協定書締結
5月	参加依頼書の発送準備と、役割分担、リハーサル
6月	前日に会場設営をし、『たじみ市民討議会2017』開催
7月～8月	提言書(案)を策定(3回)
8月	中間報告会を開催
9月	提言書を多治見市に提出
9月～10月	実施報告書を作成
10月	実施報告書を多治見市に提出。2017年実行委員会総括

○活動実績

実行委員会は、ほぼ計画通りに進捗(23回開催)し、情報提供者によるリハーサルと意見交換を5月に行った。また、参加者アンケートの結果「実行委員会の活動を詳しく知りたい」という回答(12人)を受けて7月に説明会を開催した。反省会は討議テーマ確定後と市民討議会実施後に行った。運営委員会は都度召集し、8回開催した。

4. たじみ市民討議会 2017 実施について

4-1 テーマ選定

テーマについては第7次多治見市総合計画や市民意識調査結果などを参考に議論を重ねた。まちのにぎわいのほか交通弱者の問題、自然・ごみなどの環境に関すること、子育てなど10件が提案されたが、実行委員の総意により『にぎわいのあるまち「多治見」』とした。

個別の討議テーマについては、十分な討議時間と熟考したまとめが出来るように小間数を3つとした。討議テーマ1として、身近に感じる各自の居住地域のにぎわいについて考えてもらうため、『地域の行事に関わる人を増やすには?』とした。討議テーマ2として駅南地区再開発など多治見駅周辺のことを話題とする『多治見駅周辺の施設や活動拠点をどのように活用しますか?』とし、討議テーマ3では特定の地域や場所に関わらず、多治見全体を対象に市民1人1人が『多治見がにぎわうためにどのような関わりが持てますか?』とした。

4-2 多治見市と協定締結

討議テーマを決定した後、多治見市と以下について協定を締結した。

協定の内容は①協定の目的を明確にし、②協働に関する原則、③相互の役割と責務について、古川多治見市長と竹本実行委員長が相互に署名捺印をして協定書を交換した。調印式には実行委員6人と(一社)多治見青年会議所の関係者も同席した。

4-3 参加者について

18歳以上を対象とし、住民基本台帳から無作為に抽出した1600人に『参加依頼書』を発送して参加を呼びかけ、43人から参加承諾の回答を得て、最終的に2日間通して30人の参加者を得た。

4-4 謝礼

市民討議会参加市民には単に謝礼としてだけではなく、討議会席上の発言に責任を持ってもらうために、2日間とも参加した市民に6,000円を支払った。

4-5 情報提供について

話し合いを始める前に討議テーマごとに、関係者からテーマに関する現状の報告や課題について 30 分の情報提供と質疑応答を行った。

○テーマ 1 『地域の行事に関わる人を増やすには?』

区長会の紹介をいただき、第 28 区(市之倉)区長 高木重則氏にお願いし、市之倉区における各種行事の説明と課題について情報を提供していただいた。

○テーマ 2 『多治見駅周辺の施設や活動拠点をどのように活用しますか?』

多治見市市街地整備課 課長代理 小林直行氏と多治見まちづくり(株)ゼネラルマネージャー 小口英二氏にお願いした。小林氏には多治見駅南地区市街地再開発事業に関する情報提供をいただき、小口氏には多治見まちづくり(株)が街の活性化に取り組む各事業の紹介と構想などについて説明していただいた。

○テーマ 3 『多治見がにぎわうためにどのような関わりが持てますか?』

たじみアピール隊 代表 飯田雅弘氏にお願いし、結成の経緯や活動内容、今後の計画などについてお話しいただいた。

4-6 話し合いの方法とルール

参加者は 5～6 人のグループに分かれてテーマごとに意見交換を行っていただき、グループごとに実行委員 2 人が補助係として話し合いの補助を行った。

また、討議テーマごとにメンバーの入れ替えを行い、グループごとに役割として「まとめ係」「発表係」を決め、自主的な運営を行うこととした。「進行係」は参加者の発言を促し、円滑な進行を図るためスタッフが務めた。

話し合いは簡単な自己紹介とまとめの時間を含めて、75～90 分の間で行い、各自の意見は 1 件 1 枚の付箋に記入して模造紙に貼り付ける。話し合いの決めごととして、メンバーは相互に「さん」付けで呼び合う、他人の意見を否定しない、全員が発言をするなどとした。

討議会での意見は付箋を参考に、当該グループとして 3 つのまとめ意見を模造紙に記入し、残したい意見があればこれも記入する。最後に各グループの話し合った結果として模造紙の内容を発表して、全員が各自賛同する意見に投票を行った。

5. たじみ市民討議会 2017 の結果と市民からの意見 『提言書』

実行委員会で協議を重ね、テーマごとに模造紙のまとめ意見、付箋を精査、また投票の結果を考慮して『提言書(案)』を策定した。中間報告会で参加市民と意見交換の後承認を得て、9 月 6 日に次ページ『提言書』を多治見市長に提出した。

提 言 書

「Heart of Tajimi ―たじみ市民討議会 2017―」

基本理念 にぎわいのあるまち「多治見」

2017年6月3日、4日に市民30人の参加を得て、『にぎわい』に焦点を当てた討議会を実施しました。市民が如何に多治見の魅力を再認識し行動するかについて意見交換した結果を以下に提言いたします。

討議テーマ1：地域の行事に関わる人を増やすには？

市民は地域・団体に所属していなくても関心があれば、その行事の運営を含めて参加したいと考えています。

市民自らが地域の行事に関心を持ち、積極的に関わるために以下2点を提言します。

1) 地域間の情報発信を望みます。

地域全体の活性化を促進するために、自治会や団体が主催する行事を相互に情報発信することが有効と考えます。そこで、地域の代表が集まる連絡会や協議会などで情報交換が出来るような働きかけを望みます。

2) 新しい発想の行事の企画を望みます。

従来の参観型イベントに加え、市民自ら企画し参加できる多治見独自の自由でユニークな行事（区や校区対抗で競う『たじみオリンピック』や『ギネスに挑戦』など）の開催を望みます。

討議テーマ2：多治見駅周辺の施設や活動拠点をどのように活用しますか？

市民が多治見駅周辺の施設や活動拠点を有効に活用するため、以下2点を提言します。

1) 駅周辺のアクセスの利便性向上を望みます。

駅周辺には市民生活に直結する商店街や図書館など文化施設の他、市民病院や税務署、国土交通省など公的機関も点在します。アクセスの利便性の向上と、市民の日常生活をサポートするために、公設民営の電動アシスト仕様のレンタサイクル設置を望みます。

2) 駅周辺の施設の利用に関する利便性向上を望みます。

虎溪用水広場や、ヤマカまなびパークなどの公的施設の利用案内や利用手続きを分かり易くして施設の利用を促進することを目的に、庁内の一部署が担当する、あるいは指定管理者のうち何れかがその業務を受託するなど一元化することを望みます。

討議テーマ3：多治見がにぎわうためにどのような関わりが持てますか？

市民は多治見市のにぎわいに積極的に関わりを持ち、貢献したいと考えています。しかし、個人の力では困難であるとも考えており、行政による働きかけを望んでいます。多治見のにぎわいに市民が積極的に関わるために、以下2点を提言します。

1) 市民が多治見を知り、より親しみを増幅させるための勉強の機会を設定することを望みます。

市民が楽しみながら多治見の文化・歴史・産業・地理・気候・風土…等を学び、多治見の素晴らしさを自ら認識して発信していくことを目的として、『多治見検定』の企画、実施を望みます。

2) 地産地消の更なる取り組み強化を望みます。

市民は多治見の産業・経済を支援するため、多治見のものを使い多治見で消費します。行政においても更なる地産地消の推進を望みます。

2017年9月6日

たじみ市民討議会実行委員会
実行委員長 竹本幸二

6. 『たじみ市民討議会 2017』の検証

～たじみ市民討議会の有用性～

たじみ市民討議会の最も大きな成果は、市民の声なき声が無作為抽出の参加市民から『提言』という形で行政に反映させることであるが、一般市民が多治見市政に関心を持ち自らが判断し実践するという協働の意識を啓発できることも大きな成果である。これは実施後のアンケートの結果にも全員が「行政に関心をもった」、「行政への参画意識が持てた」、「積極的に行動すべきと思った」と回答していることから明確である。

7. 今後の課題と取組

今回新たに取り組んだことは、参加年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げたことと、参加者アンケートの内容から要望のあった実行委員会の説明会を開催したことである。20歳未満の参加者は1人のみであったが、若者らしい積極的な発言と協働に関する前向きな姿勢がうかがわれた。実行委員会の説明会には2人の参加があり、「多治見市民討議会の目的」、「現在までの経緯」、「多治見市、(一社)多治見青年会議所との関わり」、「実行委員会の役割、組織、活動実績」などについて説明をした後、質疑応答、意見交換を行った。今後の検討課題として、年々参加者が減少していることから、参加者の減少傾向に対する改善策を検討していくことが求められる。今回も参加承諾の回答は当初43人であったが、当日の参加者は30人であった。今後、市内の高校に積極的な働きかけを行うなど、次回開催に反映させたいと考える。



8. おわりに(主催者ご挨拶)

昨年の11月に活動を開始して、『たじみ市民討議会 2017』を6月に開催。9月に「提言書」を提出することができました。これはひとえに活動を支えていただいた多治見市秘書広報課、協賛として活動をご支援、ご助言いただいた(一社)多治見青年会議所の皆さまのおかげと感謝致します。そして度重なる実行委員会、運営委員会に時間を割いて出席し、多くの議論を重ね討議会開催に向けて汗を流された実行委員諸氏のご苦勞に敬意を表します。

私事で恐縮ですが、2009年の第1回市民討議会に参加して、翌年からスタッフとしてこの『たじみ市民討議会』に関わってきました。過去に学んだことや反省すべきことを心に留め、また自分の多治見に対する想いを具現化すべくこの活動に取り組んでまいりました。特に行政に言い放し(おんぶにだっこ)では、このまちは活性化出来ないという想いが強く、行政も動くし、市民も知恵を出し、汗をかく協働の精神を啓発することが根本の解決策と考え実践してきました。今年の市民討議会では全ての討議テーマにおいて『市民はこう動く、そのために行政はこういう支援をしてほしい』という協働型の提言が出来たと自負しています。

今年は初めて司会を含めてボランティアスタッフのみで運営できました。その他、今年新たに取り組んだことは参加者年齢を18歳以上に引き下げ、若い人の意見を反映させようとしたことです。残念ながら当該参加者は1人のみでしたが、取り組みを工夫するなどして若年層の行政への関わり方の向上を計りたいと思います。

また、参加者アンケートで「スタッフとして参加したい」、「実行委員会の活動を詳しく知りたい」という意見を受けて、説明会を開催しました。これも対象者12人に対して実際の参加者は3人と少数でしたが、告知の仕方など工夫して今後も市民の要望に応えたいと思います。

今年は初めて実行委員会の総括を行いました。実行委員会の運営手法、開催曜日、時間など委員の意見を真摯^{しんし}に受け止め次回以降の運営に反映していきたいと思ひます。

最後に本活動にご理解をいただきご支援、ご協力いただいたお一人お一人に重ねて感謝申し上げます。実行委員長のご挨拶とさせていただきます。



平成29年12月

実行委員長 竹本 幸二

資料1. 話し合いシート

参加者を6～7人の単位とし6グループを編成し、3つの討議テーマについて付箋に意見を書き出し、グループの意見「まとめ」として発表していただいた。話し合いシートを以下に示す。



討議テーマ1. 『地域の行事に関わる人を増やすには?』

Aグループのまとめ意見	投票数
1. 人を巻き込む 近所づきあい、子ども同士の交流、学校からの連絡（子→親）	3
2. 人が集まりそうなイベント・やってみたいイベント 多治見オリンピック（4年に一度／地域でグループを作り練習する／市で大会とする、おはぎコンテスト／お正月ごとに家庭のおばあちゃんの味を競う）	9
3. 問題提起、問題の定義？ 若者世代が集まらない／10～30代の集まる場所がない／行事に参加できない、町内会費を払っているか、いないか／町内の祭りは会費の支払の有無で差別がある、地域格差／町内単位そのものを考える／規模を大きくする→市長予算ください	1
(残したい意見) 早い時間からカフェや飲食店を営業してほしい／人と人の交流の場	5

Bグループのまとめ意見	投票数
1. 印象に残る行事で参加するメリットを増やし、魅力的なものにする	10
2. 防災無線、FMPiPi、チラシ、たじみすと等で行事の積極的な周知手法をとる	6
3. 行事の役割分担を細分化し、個人の負担を減らす	3
(残したい意見) 他エリアからも参加しやすいように市に取りまとめてもらう	2

Cグループのまとめ意見	投票数
1. 情報がほしい 引っ越したばかりで広報が届かない	5
2. 公民館の活用方法 土日にサークル活動やイベントを行う／人との交流が出来て情報交換もできる	3

3. 子どもも大人も楽しめる行事を増やす 有名人を呼ぶ、アルコール類の提供など	9
(残したい意見) 保健所の規制が厳しい	2

Dグループのまとめ意見	投票数
1. 地域の行事の情報が分からない 観光案内所、駅の改札口（電光掲示板を設置）、学校、病院に行事を告知する	6
2. ギネス挑戦イベントを開催する（無料でゴーヤ、うなぎ食べほうだい） 幼児（0～3才）ご年配の人 安心して夜でも行ける行事を行う	9
3. 交通手段の無い方はイベント主催者が専用のバス車を確保して迎えに行く	6
(残したい意見) 敬老会の年齢を70歳以上にして元気な高齢者が企画運営を行い、一緒にイベントなどを行う	4

Eグループのまとめ意見	投票数
1. 子ども会の充実 中高生の活用、保護者の参加を促す	8
2. 行事の周知手法の充実 CATVの活用・情報宣伝の工夫、リアルタイムで中継	11
3. 行事のニーズについてアンケートを取って次回に反映	14
(残したい意見) なし	

Fグループのまとめ意見	投票数
1. 行事事体の在り方について 負担減のため、町内行事の合併など、集約を図る	15
2. 地域の枠を取り払い、趣味等での集まりや体験型・企業イベントなどによるイベントを増やしたい	15
3. 時間的に余裕のある年長者の方に、行事の企画・運営を行っていただき、参加していく。将来、それを継承して行きたい	6
(残したい意見) アパートや賃貸マンションに住む住人の取り込み。町内会に入っていない方に、広報やチラシを使って行事を知らせる	7

Aグループで出た意見（付箋）

1. 人を巻き込む

近所づきあい

子ども同士の交流

学校からの連絡（子→親）

駅周りに集客施設

知り合いを増やす

飲み屋さん

7:00 ごろから開店のカフェ

人基準で参加していた

夏祭りのポスターを昔は子どもが描いてゴミ集積所に貼っていた

情報が入ってこない／話題に出てこない

断れない人に広告してもらう

学生の内から比較的年配の方に会う

行事に参加するように促す

子どもの習い事のチームに参加してもらう

情報を取りづらい

バスを遅くまで運行してほしい

SNSでの宣伝

2. 人が集まりそうなイベント・やってみたいイベント

多治見オリンピック（4年に一度）／地域でグループを作り練習する／市で大会とする

オクトーバーフェス／10月くらいにビール祭り

参加行事の内容を柔軟にする／スポーツを固定せず、3年ごとに変更する

おはぎコンテスト／お正月毎に家庭のおばあちゃんの味を競う

学校主体の美化活動

文化教室を開く／年配の方が講師となり、子どもや若い世代に語り継承できる場を設ける

トレランの開催／多治見の周りには山がある／地域ごとにスタッフを募集、多治見山岳会

など

コスプレサミット／やる人見る人も集まる／外の地域からも参加

自治会のお試し体験／良ければ自治会費を次から徴収

3. 問題提起

若者世代が集まらない／10～30代の集まる場所がない／行事に参加できない

町内会費を払っているか、いないか／町内の祭りは会費の支払の有無で差別がある

地域格差／町内単位そのものを考える／規模を大きくする→市長予算ください

市から予算を出すには市全体でのイベントを企画する／町内会の輪番制

4. その他

夏祭り／子どもが集まる
餅つき大会／人が集まる／中学生ボランティアなど学校のバックアップもある
ボーリング大会／人が集まる
太鼓クラブ・踊りクラブの人を呼ぶ／地域を飛び越えての交流
夏祭りの行灯の作成を子どもが作り展示する／子どもが自分たちで祭りを盛り上げている
と思える
どんど焼きなどやらない地域は行事の継承がない／今の子どもたちは知らない
参加したら単位取得などのメリットを提示
スポーツと健康診断のコラボ
陶器と食事のコラボ

Bグループで出た意見（付箋）

1. 魅力を増やす
のど自慢大会
一通りやって福引／セットですべて体験してもらう
印象に残るところに行く／子ども会
市全体の夏祭り／もっと行事を増やしてみる
小学生が祖父母と来たら特典を付ける
小学校や教育委員会とつながって相互作用するようにする
学生は内申に響くように／ボランティアと書けるように
ボランティア・地域行事運営参加の活動を評価
2. 周知
行事開催の周知方法を工夫／SNS など
町内会非加入者への行事お報せの助成・理解／チラシ印刷代への助成
防災無線による事前放送／前週や前日
防災無線やスピーカーによる今日の行事の周知
FMPiPi での案内
声掛け・チラシ配り
3. 運営の改善
役員の負担を減らす
成功している例を勉強できるよう行政が指導
PTA・子ども会は親でもいいが祖父母でも OK とする／子どものみでも OK
参加したらいずれ役員というデメリットを減らす規約作りを説明
→子どもの数、年齢の考慮／学校・町内会・子供会など不当を申し立てられる機関や条例
行事の役割の細分化
エリアで主体的に細分化

行事参加するためには／メリットがあればいい／責任
小さい事なら小中学生や高齢者に
小学生に役割を与える
高齢者施設や企業と協力
子ども会の役割の見直し／行事や子供に特化する
分かりやすい企画（のど自慢大会など）地域の人で企画運営をやってもらう

4. その他

大きな祭りに対して町内などがもっと参加する
仲間づくり、出会いの場にする
区に行事がない／エリアの人にも声をかけて回る
町内と町内での結びつき
公園が少ない／みんなが集まれる場所を作る
土日に公民館行事に行ってみる
盆踊りの練習で関わりを作る
町内ごとの垣根を外す／夏祭りなど
エリアで協力するように市が区へ要請

Cグループで出た意見（付箋）

1. 提案

子どもを参加させると親が参加するので多くの人参加
公民館や児童館の有効利用／人との交流が生まれる
実行委員の方が積極的に誘う／若い人をどんどん誘う
公民館活性化委員会の役割
広報を配布することにより災害時に安心感がある
クリスマスコンサート／公民館イルミネーション／夏祭り
自分たち一人一人が友達や知り合いなどに魅力を伝えていく
行事はまず自分が楽しむ
地元の有名人などを呼ぶ／スポーツイベントなどで有名な選手を呼んで教室などを開く
自分の好きな事を見つけて、合った行事に参加していく
自分の好きな事から始める→情報も出る
上から押さえてはいけない／それぞれ話し合い企画していく
個々に役割分担して責任を持つ／楽しくなる
消防団／活性化委員会
お祭りでアルコールを出すと大人が参加する

2. ネガティブ・疑問等

行事がありすぎる

公民館の行事を土日にやってほしい／公民館にはいろいろな教室があるが、平日の昼間はなかなか参加できない

小泉公民館はお酒禁止／なぜか分からないが、お祭りにお酒がないのが寂しい

公民館の駐車場が少ないので人が集まらない

市のHPは古いものが変わらず載っている！

小さな子どもを連れて出かける時、子どもが泣いて周りに迷惑をかけると思うと参加できにくい→サポーターがいると安心して参加できる

情報がキャッチできれば興味がわくと思う

引っ越ししてこられた方（マンション等）には広報が届かない／町内会も集金に来ない

→自分からどこへ行って町内会費を支払ったらいいのかわからない

賃貸だと広報や回覧板が来ない／引っ越したばかりで広報が届かない

市のインターネットで調べるのが面倒くさい

FMPiPi もおりべTV も見ないし、聴かない

特にない／行事が分からない／引っ越してきたばかりで行事を知らない

行事を減らすと絞られていくのではないか？

行事に子どもを連れて行くのはどうなのか？

子ども会の役員さんが夏祭りの時、五平餅を焼いたりして参加していたが今はない

夏祭りも子どもが行っていた頃は自分も行っていたが、子どもが行かなくなると自分も行かなくなる

町内会とか子ども会に入らないというご家庭もある

地域によって温度差がある

消防団に入ると家族は大変／災害時には家族は二の次

消防団に若い人がいない／イヤだという声を聴く

消防団の役割が明確ではない

災害時の対応／どこに誰がいるか、地域によって差がある

保健所が厳しく、活動をやめた

夏祭り（地域の行事）他に何があるのか？／お祭りが分からない

3. 感想、回想、考察など

市の一斉清掃は義務的に参加している

町内の役が回ってこれば地域の行事に参加する

参加するには仕事との両立が必要

子ども会が今はなくなってしまった／昔はボーリング大会とか楽しい行事があった

地元の豊田ではおいでん祭りが毎年夏に行われていて、曲が若者でもハマりそうでいつも多くの人 coming

自分が小学生の頃、子ども会によく参加してて、当時はボーリング大会など若い世代が楽しめるイベントが多かった

地域の公民館以外の公民館の情報も欲しい
時期に合わせて行事を行う
児童館を使いやすくし、たくさん増やしていく
広報を配布することにより災害時に安心感がある
地元の有名人などを呼ぶ／スポーツイベントなどで有名な選手を呼んで教室などを開く
情報／新聞や広報を見ると有名人が結構来ている
広報に若者が好きなキャラクターを入れるなどデザインにも力を入れる
人と関わるには自分の好きな事から始めたい
自分の好きな事から始める→情報も出る
人と人のつながりから参加するのでは？
安全に配慮された行事であることが大事

Dグループで出た意見（付箋）

1. 情報

情報の窓口 その人その人にわかりやすいものにする
地域の行事が何があるのか分からない
回覧板を見ない
駅の改札を出たところに、大きな電光掲示板を置いて地域の予定や催し物を知らせる
（多治見市内の）病院に掲示板を作り、行事を告知する
学校に地域情報を掲示する
回覧でなく町内清掃を1月1回にして、班長から直接伝える
地域の人の関心事を知る
スマホのない人用に街角に端末をたてる
コミュニティーバスに地域情報を付ける
おりべくらぶ・チャットのような無料情報誌を全世帯に配る（若い人が見る）
観光案内所は多治見市以外の人が行事にかかわる窓口となる
イベントに参加した人をデータベース化して、再度行う時に案内状を出す。その時にお友達紹介用紙を入れる
一度来た人にアンケートを書いてもらって、よければ連絡先を教えてもらう
携帯スマートフォンなど多治見市緊急（別でも）メールで知らせる

2. イベント内容

行事に出たい理由を見つけられるように
行事に楽しみを感じない
あいさつの後に何でもよいので一言言葉を発する
参加しない人の理由を調べる
全員参加にする

イベント係を有償で雇う
幼児向けの（0～3才とか）安心して夜でも子どもと行けるイベントがあると良い
ご年配の人も夜 安心して行ける行事があると良い
参加するとお金がもらえる
寒い街とのコラボイベント
主な行事（盆おどり、花火）などと同時に、有効な行事を行う
有名人を呼ぶ
ギネス大会 イベント ゴージャカーテン うなぎ
人を誘いたくなるようなイベントにする

3. 交通

行事に行きたくても交通手段がない。足がない
コミュニティーバスの時間が分からない
介助者つきの老人向け花火大会
東鉄バスの多治見駅近くのバス停を増やす。金岡町までないから
1年間の年間行事（何があるか）その地域だけのバス・コミュニティーの時刻表、専用の
タクシーなどの分かりやすい行き方をまとめた時刻表を配布する
敬老会の年齢70歳以上にする

Eグループで出た意見（付箋）

1. 行く手段がない（高齢の方でも参加しやすいようにしたい）

県外の人が集まってくる町づくりをする
子どもが好きなこと
年代別で、行事、運営方法を考える
花火は人が集まっている。集まる場所には行きたい
行事で知り合った人と個人、仕事レベルでのつながりができる
子どもと高齢者が一緒に楽しめること
共働き世帯が多くなってきている中、地域行事に参加していくのは、子ども・シニアを取り込む行事 花火は人を集める（年齢関係なく）
活動単位の整備
つながりができれば一緒に行事をするモチベーションが上がる。
組織を見直す 企画する側が丁寧に対応することで人が集まり、次回も参加しようと思う
のではないかな
情報の伝え方
毎年の行事の中で人を増やしたい
公共交通機関の環境整備
市之倉 子どもと高齢者だけ 親世代の参加がない

外に出るメリットがない

2. 子ども会の行事を増やす

子ども会の組織を整備する

子どもが忙しい親も忙しい

中学校・高校を組織化し、行事を発信する

新しいことを始める

子どもが参加できる行事

アンケート細かくする

アンケートで意見を集める

役員にとっても、やってよかったと思えることは考えられないか

子どもが少なくなってきた。地域行事のマンネリしている。魅力がない

参観日に親子参加の行事を行う（美化活動等）

3. 空き家対策 補助をして、若い人たちに入りやすくしていく。地域に若い人たちをとり込んでいく

敬老会をケーブルテレビで中継

回覧板では不足

テレビ中継する（家でも楽しめる）

大きい掲示板の様なもの

年間行事をみんなに知ってもらう

行事の前に街全体で行事色の装飾をする

回覧板はみない

Fグループで出た意見（付箋）

1. 年を取って時間が余ってきたら参加したいと思う

行くだけなら参加しても良いと思う

2. 「自分には関係ない」と思ってしまう

アパート、マンション（町内会に入っていない方）に広報や行事のお知らせを配布する

アパート住人の取り込み（流動型生活をしている人を参加させる）

3. 駐車場の確保

企業誘致や税制優遇を行い、人口の増加を促す

行事の裏方の体験会をする

世代間の交流 楽しい体験

4. リタイアした高齢者に地域美化活動、おしゃべりサロンなどを企画してもらい、町も高齢者も元気にはつらつと生活していただきたい

行事を企画運営するのは、地域の高齢者にお願いしたい

地域の高齢者が登下校の子どもの見守りをしてくださっている！ありがたいです！感謝し

ています

5. 大手企業のイベントを実施。(単純に行事に参加するイベント)

趣味で集まる会を作るのは？

タケノコ堀り、栗拾いなど体験型の行事は？

趣味の同好会を増やす！近くの集会場などで→好きな人が企画するので負担がない→広報の為に「おりべくらぶ」などの情報誌に市が費用を負担しスペースを使ってほしい

おりべくらぶで告知する

興味のある行事をする 何かもらえる 花火はまだ人気ある

6. 地域の行事単位を分ける。高齢者巡回等は小単位で。盆おどり等の行事は複数の町内単位

行事の単位が小さい。町内会を合併して行事を行う

行事先行でなく、現状の人にあった行事を考える

小地域の行事をスリム化 それより高齢者の活躍の場面、チャンスをも！

そもそも地域の行事に関わる人を増やす必要があるの？行事の準備にはマンパワーが必要→多忙だから若い世代はムリ

行事が多いので減らすことで関わることの負担を少なくする

行事を増やす必要があるか？

討議テーマ2.『多治見駅周辺の施設や活動拠点をどのように活用しますか？』

Aグループのまとめ意見	投票数
1. 既存の設備の利用価値が低い 営業時間が短い、街灯が少ない	1
2. 人の流れを作る設備の増設と設置 ～21：00頃まで開いてる病院、飲食店、保育所など、陶器を利用（多悠連etc で作った陶器を使用）した店	9
3. 駅までのアクセスをより柔軟にしていく バスと電車の乗り合わせ、駅までの往復が簡単な方法（乗り捨て自転車）	3
(残したい意見) 駅周辺を歩くコースマップの作成、アーケード付きもショッピングモール、映画館付き、ジョギングした後の着替え場所（ビール付き、café）	8

Bグループのまとめ意見	投票数
1. 施設、設備の充実 交通弱者、高齢者、子育て世代の為の宅児所、ハローワークの駅前移転、外国人観光客の取り込みなど	5

2. イベント利用の推進 アニメイベントやスタンプラリー、さわやかウォーキングとのコラボなど	11
3. 通勤、通学で利用する常時利用者と駅を全く利用しない人に、イベントを周知させ施設利用を促す	0
(残したい意見) 店舗情報の開示、若者向けの店舗の拡充や閉店店舗の継承 など	1

Cグループのまとめ意見	投票数
1. 多治見駅からの“情報発信” 企業と協力して、電子広告板を作る。タッチパネルにし、周辺の情報を発信する	9
2. 商業施設の特化 商店街を、年齢別、性別に特化した“専門店街”にする（女性向け、芸術、趣味）	7
3. 多治見駅の整備 バーベキュー、映画館、ライブハウス、屋台村など、若者が活動できるようにする	13
(残したい意見) 交通…バスを遅くまで運行し、タクシー会社と協力し夜の多治見を安心できるようにする	9

Dグループのまとめ意見	投票数
1. 情報発信について ネットだけでなく、世代別でも入手できる方法	6
2. 交通機関について イベントによって主催者側がシャトルバスを用意する。駐車料金が安くなるとよい	5
3. 待ち合わせ場所について 駅周辺などに休憩できる場所を用意する（ファーストフード店など）	16
(残したい意見) 多治見駅周辺に集中する必要があるのか。イベントに知名度の高い方を呼ぶ	5

Eグループのまとめ意見	投票数
1. 幅広い世代と目的に利用できる施設にし、そのPRと駅北庁舎で多治見の名称をアピールする	5
2. 気軽に利用できるよう、アクセス方法とサービスを整備する	4

3. イベントを企画する側として、出店しやすい経済的支援の充実と規制の緩和を望む	8
(残したい意見) 子育て世代にとっては、大きな公園があるとうれしい(無料駐車場つき)	12

Fグループのまとめ意見	投票数
1. 交通 レンタル自転車、乗り合いバス、駐車場特点、駐輪場整備、自転車レーン整備、電動アシスト付自転車補助	17
2. 内容 一つのテーマに特化した場所(飲み屋街、映画通り、体験型ストリート)、全体利用で駐車料金割引(モデルコースの提示)	6
3. 周知 イベントの周知、駅を出たところを分かりやすく、景観の良さをアピール	0
(残したい意見) 明るい雰囲気、街灯を多く、花を増やす	4

Aグループで出た意見(付箋)

<p>1. 車利用が多いため駅はあまり利用しない</p> <p>町が暗い 寂しい</p> <p>駅前が暗い</p> <p>街中に休憩する(ベンチ)など少ない</p> <p>駅近くにショッピングモールを設立して、より駅を利用する人を増やしていく</p> <p>帰宅ラッシュの時など人が多くなる時間帯を狙い店などをより活発にさせる</p> <p>駅周辺の店が早く閉まってしまう。せめてラッシュ時夜9時くらいまで開けてほしい</p> <p>バスの時間帯、ルートをもっと増やしてほしい</p> <p>空いてる店を開放して展示場に!</p> <p>通勤用で使用 休日に利用か?</p> <p>(車を持つ前)通勤や遊びに行く時によく駅を利用していた</p> <p>2. コミュニティセンター + 保育所 cafe、飲み屋さん</p> <p>駅周辺にトレーニング後の ・着がえ施設 ・シャワー 他県からの利用</p> <p>集約施設の設置 雨でも利用できる</p> <p>保育所の設置 ・母子家庭 ・近隣住民との交流の場</p> <p>陶器の照明で駅から商店街までを明るくする</p> <p>商店街を歩けるように</p> <p>商店街を歩かせるアーケード</p>
--

銀座通り - 多治見橋 - ながせ通 - 多治見駅 ストリートを整備
 空き店舗の開放 フリーマーケット レンタサイクル など
 駅周辺にあったバス停がなくなったために歩くことが減った。商店街付近にバス停を増やすのは？
 営業時間の延長（病院、スーパー）
 ワンコインフリーマーケットを開催

3. 駅周辺のお散歩マップ

街の街灯を陶器の形にするなどして陶器の魅力を町で表現する
 歩行者優先できるバリアフリー化
 人の流れを作る
 市役所のロビーを趣味の人達に開放
 東鉄バスの連絡が悪い。もっと便を増やすか乗り合いタクシーなど設定するには？
 駅前、展示会 etc の発表の場を増やす
 自己PR できる場があれば、“わざわざ” 行くかも…
 ジョギングコースなどで運動を楽しめるコースを作ってほしい

Bグループで出た意見（付箋）

1. 障がい者のガイドがすぐ利用できる
 駅周辺に託児所があるとよい
 多国籍の色あいを持ったらどうか
 高齢者に対する施設への移動方法の提案
 ハローワークの窓口を駅に作ったらどうか
 高齢者向けの施設がほしい。JR を利用しておでかけできる
2. 駅を利用しない人に、イベントを周知することで、施設利用を促す
 駅周辺にもっと行きやすくする（駐車場等々）
 土岐、瑞浪、中津川の人が途中下車できる魅力ある町
 通勤・通学の人たちを引き込む。（定時利用者）
 通学、通勤者に向けた“何か”
 ワイワイ遊べる施設
 公開レコーディング
 アニメとのコラボでスタンプラリー
 アニメ等のイベント
 さわやかウォーキングとのコラボ
 告知方法の検討 CATV、インターネット、SNS
 駅を利用できるイベント
 若年層向けの施設、店舗を増やす

飲酒運転にならずにすむ、ステキなのみ屋があるとよい
観光案内所の自転車はどこに？
なじみのおいしい店が無くなり、ますます駅前にいかなくなる
多治見駅に近い車乗り入れない

Cグループで出た意見（付箋）

1. 駅、通路の電子広告板をもっとイベント情報にする。（例）1ページいくら？1期間いくら？もらう
企業と協力して駅に大画面モニターでイベントや地図を作って情報を見やすくしたい
各、お店でやっているイベントを広めてほしい
駅、連絡通路の物販を特化（例）スイーツの日、たじみそ焼きそばの日、出展料をもらう
地元の企業を駅に出店してもらう。スイーツだけとか焼きそばだけとかして投票する
総合デパートなどのテレビモニターに地元のイベントなどを表示して発信していく
2. 女性向けの居酒屋やオシャレな店があるといい
買い物する所よりも遊べる所があるといい バーベキューや水あそび等
駅前に屋台村などを作り、交流ができるスペースを作る
陶器、イベント場等、含めた総合エリアを作る
若い人向けなどの服などを取り入れる
人と人がつながる場として良い（ビアガーデン）
ファミリーで食事できる所がほしい
陶器だけではなく芸術の街にする
ハロウィン、クリスマスなどシーズンに商店街の装飾を変えていく事業を入れていく
総合デパートを駅前に
駅北は男性向け 駅南は女性向け などの特化
若者向け 子ども向けなど 商店街の特化
用水公園を もっと水で遊べる所にしたい（魚釣り、つかみ取り等）
女性の入りやすい屋台があるといい
学校（部活）の発表の場 （（例）吹奏楽）
若い人たちの活動する場所を作ってあげる（ダンス 歌）等
3. ライブハウスのような所があるといい
若者が歌ったりダンスしたり自由にできる場所
人が自然に集まり交流が生まれる
食べ歩きができる飲食店 エリア
グルメストリートを作って食べ物に特化させる
多治見ブランドを作る コンテストなど
アミューズメント施設を増やしていく

駅南の商業地の中にイベントエリアを作る ライブなど

4. バスがもっと遅くまで走ってほしい。 東鉄さんお願い！

お酒をのんだ後の車の運転

商店街が複雑でわからないので整備区画をする

タクシー会社バス会社と協力して夜の多治見を楽しめるようにする（お酒を楽しめる）

Dグループで出た意見（付箋）

1. 多治見まちづくり（株）⇒利用しづらい

2. 駅利用の場合（車）⇒南北の移動が不便

南口でのイベントが少ない

駐車場代が安くなれば施設を利用しやすくなる

イベントを行う場合、主催者がシャトルバス etc、移動手段を用意してもらいたい

イベントにあわせたシャトルバスを出していく、多治見まちづくり（株）の方に組み込んでもらう

バスがないので施設に行けない

交通網を整備して移動を楽にする

3. 駅周辺で祭りを多く行う

お店のテナント内容によって、集客にぎわいがかかわってくる

知名度のある人がイベントを主催する

多治見駅周辺に施設を作る必要があるのか？

多治見駅周辺に集中しなくてよい、地方に分散

駅に集中する必要はない

東鉄バスをやめて多治見まちづくり（株）が市内巡回バスを運営する

4. 利用する以前に情報がない

情報入手方法は様々あり、世代間でも差がある、ネットに限らず情報を発信してほしい

情報発信、シニア、若い方など発信方法を工夫していく

施設や活動が全く分からない、情報が欲しい

情報入手方法は様々あり、世代間でも差がある、ネットに限らず情報を発信してほしい

情報に関してイベントなど管理する、多治見まちづくり（株）があることも知らなかった

Eグループで出た意見（付箋）

1. 周辺施設の広報・アピール

BBQ

駅周辺施設に多治見の名称を入れてアピールする

掃除活動に楽しみの要素を入れたい

ランニング出来る公園（ウォーキング）

虎溪用水広場で結婚式などパーティー
商店街でのイベント お買い物ツアー
スケボーパーク
ビアガーデンは行きたい

2. 駅周辺の施設にある施設、店ぐるみでイベントをする、夏に何度以上ならばいいコトが有る等

駅周辺南北の往来をしやすくする
駅に近い踏切が貨物列車が停止して夕方に5分以上開かない時がある
踏切でないところで停止できないか
他所から文化ホールに来た人が帰りに寄れる店
駐車場はよく利用する
乗り合いタクシー
無料駐車場（お買い上げ2,000円以上）
代行運転の充実

3. 移動図書館 返却ポスト 駅

移転予定の新庁舎のカベに映像を映す
虎溪用水広場に無料Wi-Fiスポットができるなら充電用のコンセントも付けてほしい
大きな公園を作って欲しい
ライフウエーニング広場で
JR東海ツアーズの店のあとの場所は何になるのか？
駅北に店が少ない
陶磁器販売する場所、焼き物作りを体験できるお店が欲しい（駅店舗）
駅の南北道路でイベントが無いときは人が通り過ぎるだけになる。
オープンカフェとか話ができる場所があったらよい
移動式店舗の出店
コーヒー等、趣味レベルで詳しい人がお店を出し易い取組支援
大きな公園は駐車場無料
通路にカフェがあったら電車帰りによる
映画館

Fグループで出た意見（付箋）

1. 周知

駅改札口に大きくイベント表示
飲み屋イベントの周知
虎溪用水広場イベントの周知について→口コミを期待したい
お友達紹介チケット等（50円引きとか）配布する

2. 交通・使い易さ

車で行きにくい（駅周辺）

無料駐輪場を作る

無料駐輪場もしくは100円など安くとめられる

ビアガーデンの様子を改札口ですぐ見えるように

車で行きにくい、車で行きやすい

レンタル自転車があるといい

レンタル自転車、乗り合いバス

ビアガーデンの張り出しが気になる、駅北階段下のイベントスペースの整備が出来ていない

駅周辺を大きなテーマパークに、駅北に車を止めて商店街へ

駅北駐車場に停め商店街で買い物をすると駐車料金値引き

自転車レーンを整備

自転車補助金

車と共存を考える、駅近くにドライブスルー通り

駅へのアクセス・時間・値段

3. 内容

商店街に活気がない

通勤のみで素通り→軽い店

おいしい食べ物屋があるといい

家に持ち帰る、お土産（早く家に帰りたい）

本当にお金を使いたいもの

立ち飲み屋

多治見まちづくり（株）の虎溪用水広場利用のイベントはステキ

ビアガーデンなど是非利用したい。ロコミで広まるといい

娯楽がない、映画館があるといい

用水→商店街でセットでメリットを作る（駐車場安くなる）

銀座商店街へマニアックな映画ストリート

駅周辺で1日過ごせる・モデルコース提示・モデルコースを意識した街づくり

週末で1日過ごせるイベント

駅周辺を大きなテーマパークと考える。

映画ストリート・食い道楽ストリート・体験型・趣味のストリート

明るくする、暗い、華やか

魅力的な場所がない

夜遅くまで飲めるように、安価の乗り合いバス、乗り合いタクシー（100円、200円くらいで）

シルバーさんドライバーが活躍できる
 NPO 法人を作るべく多治見市が助けてくれないか？
 駅、周辺には車で行きにくい。バスの本数を増やす
 「自転車に乗ろう！！」の街づくりをする。自転車が乗りやすい歩道の整備。電チャリ購入補助

討議テーマ3.『多治見がにぎわうためにどのような関わりが持てますか？』

Aグループのまとめ意見	投票数
1. 実際に自分たちで多治見を勉強、そして観光し、ほめたたえる	8
2. イベントに積極参加する 親子で参加できるようなイベント、地元の陶器を使う。道案内をする	2
3. 多治見専用アプリを作る 観光情報、口コミ掲示板、撮った写真などを自由にアップできるようにするなど	14
(残したい意見) (今日からできること) ゴミ拾い、広報読む、近所のいい所(土岐川添いなど)で過ごす	4

Bグループのまとめ意見	投票数
1. 情報発信 (SNS、QRコード付のポスター作成、電光掲示板) アンケートを全市民へ配布する。口コミでターゲットを絞って情報発信する	8
2. イベントに積極的に参加する ボランティア募集の広告やイベントに来ていただいた方に、イベントに関わる方に呼びかけてみる。参加者には特典をつける	2
3. イベントに関わるために、土、日、祝日の保育を充実させる。保育施設の利用者の声分かる口コミサイトを設ける	14
(残したい意見) 大きな公園・遊具がたくさんある公園・動物とふれ合える公園、他県との交流(イベントを通して交流する)	4

Cグループのまとめ意見	投票数
1. 参加したくなる活動にするには コミュニティー広場を作る。積極的に参加しやすくする。自分から参加したくなる講座を多くする	8
2. 情報発信を自らする	2

多治見市の歴史、多治見の良さの発信	
3. 既存のキャラクター（うながっぱ）の活用 ステッカーの配布、切手の活用、グッズの利用（缶バッジをつける）、都市伝説（みると幸せになる）	14
（残したい意見） 空き家の利用、活用	4

Dグループのまとめ意見	投票数
1. 他所から観光客に安心して来てもらって、にぎわう 旅先で多治見を紹介。駅構内で陶器、酒、土産を販売する	8
2. 市民へ行事に参加した報奨として、ガチャポンを引いてもらう。（多治見の秘密や、多治見ならではの市民一人一人からのプレゼント、商品引換券など入れる）	2
3. 多治見アピール隊のアピールをし、思いついた時にいつでも情報や具体案を伝える	14
（残したい意見） 駅に多治見の今と昔の写真などを展示して、懐かしんだり関心を集めたりする	4

Eグループのまとめ意見	投票数
1. 多治見は子育てしやすい。→保健センター・児童館の講座が充実している ・妊娠中から情報が入る ・「子育てしやすい多治見」をアピール（高齢者にも子育てを手伝ってもらおう） ⇒行政の支援を !!	8
2. 「多治見の人口増加につながる」 多治見で働く !! ・定住者の促進 ・起業家にお祝い金⇒雇用の場を増す	2
3. 「地産地消」⇒地元で買う。地元で食べる⇒にぎわいにつながる	14
（残したい意見） 車に「多治見」ナンバーを導入する	4

Fグループのまとめ意見	投票数
1. 自分発信 参加、誘導、行動 朝礼を利用、旅行先で多治見を言う	8
2. つながり 街中を散歩、あいさつ、情報交換	2
3. 多治見で消費する（地元愛） 陶器の贈り物、外食、ケーキ、街コン（再コン）	14

(残したい意見) 歩道の整備（白線）、趣味の発表の場（無償）	4
-----------------------------------	---

Aグループで出た意見（付箋）

<p>多治見をほめたたえて伝える アピール用ステッカーを作ってもらい車にはる 観光大使バッジ ・ アピール隊の利益 ・ つければ自覚をもって案内 陶器、歴史の勉強をする 関わりがもてるように歴史観光のセミナーを開いてもらって参加する 自分たちで多治見を観光する 道案内、看板を自宅につける 地域のイベントに自分の子どもを参加させる 親子で参加できるイベントにしてもらって参加する イベント等の道案内など気軽に参加できるようにする 子どもだけの参加でも、安心なように、ボランティア 出店、PR、地元の特産品を使って 多治見市専用のアプリ ・ 口コミ情報 ・ 観光情報 多治見の写真等をアピール隊に ゴミ拾い 川添いで過ごす ランニング ・ 散歩 駐車場 分かりやすいように</p>

Bグループで出た意見（付箋）

<p>ターゲットを絞って情報発信 情報発信している SNS の QR コード付のポスターを作成 電光掲示板（情報）スーパーなど人が集まる場所に置く アンケートに答える イベントのボランティア募集を見て参加する 大道芸のコンテスト等見て楽しめるイベント スポーツイベント ラジコン大会を地域規模で イベントに関わる方に謝礼を出す イベントに来て頂いた方にイベントに関わる方に呼びかけてみる 花火大会への参加 無料のイベントが充実 あまりお金をかけない（パーキングなど）フラッと立ち寄れる環境作り</p>
--

サバイバルゲーム
他地域の方をまねくスポーツ大会（うながっぱ杯テニス大会）
料金かからない公園があるといい
子育てしやすい町づくり→土、日、祝日の託児所を増やす
保育施設のロコミが欲しい→相談窓口は紹介のみ
土日の保育を充実させる 病気になった場合もあずけられる拠点を
大きな公園を作る
公園の遊具が少ない
動物とふれあえる公園があるといい
他県との交流

Cグループで出た意見（付箋）

（まとめ1）

自分たちがもっとやりたいと思う
多悠連を支える会を作る
好きなことだったら関わることができる たとえば、ゲームとか～
魅力ある講座を多くするし、参加しやすくする 多治見市に限定しないで他市にも参加できるように
駅前で（陶芸など）教室を開く
好きなことについて話し合う
コミュニティー広場ができて参加する
好きなことで仲間を増やしていく
ボランティア

（まとめ2）

他県市外の人に伝える発信する
多治見だけでなく他県にもアピールしていく
ステッカーを各家庭に配布し他県にも広げて多治見をアピールしていく
観光マップを作る
多治見のキャッチフレーズを考えアピールする
アピール隊に多治見の歴史を調べて情報発信してほしい
多治見の歴史を発信する
1人1人が歴史、自然など良さを発信していく
多治見市外の人たちにもっと歴史を知ってもらおう
キャッチフレーズ（多治見のもの）

（まとめ3）

うながっぱをもっと知ってもらおう

うながっぱの切手を貼って出す
うわさ、伝説を広める
うながっぱの利用方法を考える
うながっぱシールを作り活用したい
(残したい意見)
人口を増やす手段を考える
あき家を改修して若い夫婦に貸し出す。 改修、ゴミ掃除のボランティアを作成する

Dグループで出た意見（付箋）

(他所からきてもらうため)
旅先で自己紹介のときに多治見を紹介する
多治見にしかない名所をつくる。セラミックパーク MINO の近くに、白い陶器を底にして水を数センチ張って「天空の鏡」をつくる
陶器イベントはよいが、年に何回しかないので、いつでもあるようないい所がないか
よその人が SNS に写真を載せたいような所をつくる
防災時に観光客も安心して避難できる体制づくり
駅で陶器を販売・酒・土産
(市民が行事に参加して)
清掃やボランティアなどの参加者に、無料で自分たちが知らない多治見の秘密を知ることが出来るガチャポンを作る
商店街にガチャポンを置く
市民ひとりひとりからのミニプレゼント（ガチャポン）
高齢者の方の手芸の引換券
その日の当たりを引き当てた人には、当たりの作品の作者本人が手渡し
最高級の陶器交換券など当たり景品を少し入れる（ガチャポン）
高齢者の方にも作品作りに協力いただく
体験チケット。期限なしで地元の体験できる施設
広報誌に引換券を付けて、見てもらうようにする
掃除と遊び（ゲーム）をコラボレーションした企画
(情報)
アピール隊にニーズを伝える
多治見での行事に参加する（家族で）
情報の窓口があれば、都度情報を届けたい
アピール隊のアピール
(残したい意見)
過去の写真などの展示する（懐かしいもの）

Eグループで出た意見（付箋）

1、子育て

市内で子どもを産む！！

産院から多治見での子育てのしやすさが知れる！！

子育てがしやすい ・妊娠中から情報が入ってくる

「子育てのしやすい多治見」⇒子育てを地域の高齢者がサポート⇒

「NPO ベビーシッター」⇒若い家族の定着をねらう

子育てがしやすい⇒保健センター・児童館の講座が充実している。子育て母の多くは参加している

産院を多治見で開院してもらおう

2、定住と働き方

人口の増加を促す（子育て支援金の増額・転入者にはお祝い金を出す）

市内で働く

東濃として瑞浪、土岐、多治見で活動する。結局、マンパワーが必要になる

雇用の創出

起業者にはお祝い金を出す

3、地産地消

市内で買い物をする

多治見で買い物をする

多治見で買い物をする。多治見の物を買う

市内で飲食する

単発のイベントに対するにぎわい⇒常にある程度、人が行き交うにぎわい

興味があるなら自分から関わる ・マラソン ・食べる事 ・コスプレ（アニメイベント）

参加する意識に対する周知、PR⇒×ニーズにあわせたイベント

6：00～の cafe

ジョギング後に着替え休める場所⇒一杯飲める店があれば週1で行きます

紙媒体とNET情報PRとの葛藤 Facebook. SNS. 様々なPR

ポイント制度導入。使い方・医療費・食費。溜め方・各事業の手伝い

ハード的なイベント等の増加ではなく、人とのかかわり（ソフト面）が充実することが大切

Fグループで出た意見（付箋）

まとめ1

- イベントはとりあえず行ってみる
- 誰かを誘う
- 自分発信
- 朝礼の利用
- 旅行に行ったら多治見の地名を言う
- 情報交換をし合う
- イベント等へのボランティア

まとめ2

- いいね を押す
- あいさつ
- 町中の用事はなるべく歩くようにする
- 街コン（再コン!!）

まとめ3

- 農協の利用（地産地消）
- 多治見で消費する
- 贈り物に陶器を用いる
- 多治見で外食する
- 多治見のケーキ屋さんでケーキを買う
- 趣味の発表の場を作る（出品者の費用負担がない形で）
- 子育て中のママでも出かけやすくなるように、子どもをすぐに一時的にあずかってくれる所があるといい
- 白線や歩道の整備（散歩ができるように）

資料2.参加者アンケート

参加者全員にアンケートへの回答をお願いし、以下のような結果を得た。

設問1. 参加動機について

無作為抽出で選ばれたから…	21 (43%)
市民参加に興味があった …	0 (0%)
テーマに関心があった …	9 (13%)
その他 …	0 (0%)

設問2. 市民の声を行政に伝える手段として？

適している …	21 (70%)
適していない …	0 (0%)
わからない …	9 (30%)

設問3. 意見交換の集まりに参加したことは？

ある …	5 (17%)
ない …	24 (83%)

設問4. 今後市民参加の企画に参加したい？

参加したい …	3 (10%)
都合が合えば参加したい …	25 (83%)
参加したくない …	2 (7%)

設問5. 具体的な感想？

行政に関心が持てた …	8 (27%)
行政への参画意識が持てた…	15 (50%)
積極的に行動すべき …	7 (23%)
特に変化はない …	0 (0%)

設問6. スタッフとして参加する？

参加したい …	3 (10%)
参加したくない …	18 (60%)
詳しく説明してほしい …	9 (30%)

設問7. 今後市民の意見を聞きたいテーマや、関心のあるまちづくりに関する事、協働できそうな案（自由記述）

10代男性	多治見という町をもっと知ってもらうためには
20代男性	アンケートがあれば積極的に参加したい
30代男性	「トレランetcアウトドイベント」、「駅周辺の飲食店活性化に関する事」
30代男性	「店舗の物件が高い」、「昼間の人が少ない」
30代男性	呼んでくれたらいつでもOKです（設問6で実行委員に参加したい）
40代男性	旧市街地の狭い道路の整備
40代男性	「スポーツ施設整備」、「安全な道路等のインフラ整備」、「大型公演」
40代男性	多治見駅南口にできる商業施設に何が入ったらよいか
40代男性	「高齢化」、「少子化」
40代男性	「行政主導のまちづくりに関してはもう結構やられていると感じた」、「民間主導をこれから行っていければよいと思う」
40代男性	多治見駅前の景観が他のベッドタウンの駅（勝川など）と同じようにならないためにはどうなればよいか
40代男性	「KJ法でテーマを選定について、解釈が分かれるのは適切ではない」、「短い文章で意見を出しやすいようにやってほしい」（ex 多治見が賑わうために行政に何を求めるか）
50代男性	学生の中から多治見に住んでいる人と、社会人になってから多治見に住んだ人で、意見を分けたほうが良いのではないか
50代男性	「病院、介護施設に関する事」、「多治見駅付近の開発には関心がある」「イベントやボランティアには協働できそう」
30代女性	市民討議会に参加できない人でも、選ばれた人は意見を書けるようにできればよいと思う
40代女性	「交通機関バス」
40代女性	「駅南の再開発や企業誘致など」、「公共交通機関の充実」
50代女性	どこでも、だれにでも多治見をほめたたえる

設問 8. 18 歳以上の参加について

良い	… 29 (97%)
まだ早い	… 0 (0%)
わからない	… 1 (3%)

設問 9. その他意見、感想

10 代男性	今までこのような会に参加したことはなかったけど「一市民として」という気持ちを持てたりしてよかったと思う
20 代男性	初めての参加だったので緊張したが、貴重な経験であった
20 代男性	良かったと思う
30 代男性	もっとたくさんの人に認知してほしいと思った
30 代男性	テーマが大きく、考えるのが難しいと思った。もっと簡単で話しやすいものが良い。付箋でまとめ、発表する等わかりやすくフランクであった
30 代男性	イベント出店したり、貸店舗を探している立場としてにぎわいに関する内容に参加できたのはよかった。もっとまちづくりに関わっている人を読んでほしいかった
30 代男性	もっと年齢を下げても良い（中学生以上）
40 代男性	大変良かったと思う
40 代男性	楽しかった。初めて会った方と話すのも面白かった。テーマが広すぎる。テーマを絞ってほしい
40 代男性	提言に対する市の対応の深掘りや、結果に対する満足度調査をする
40 代男性	このような話し合いの場は継続すべき大切なものと感じた。感謝
40 代男性	時間が少ないように感じた
40 代男性	市役所の封筒で郵送されたので多治見市の事業と誤解した
40 代男性	こども討議会ってやっていますか
40 代男性	参加者はもっと多い方が良い。1日だけでも参加可能にした方が良い。一つは何でも言ってよいテーマがあっても良い
50 代男性	大変良かったと思う
50 代男性	テーマ設定、または意見集約の際年代別で分けたほうが良い（グループを年代別に分け、後で情報交換を行う）
60 代男性	久しぶりに考えること（頭を使うこと）をしてつかれた
20 代女性	テーマの妥当性、短時間でも良いのでロールプレイング、方向性を持ってほしい、どのチームも同じような意見になる。年代、性別のグループ編成にしてみても如何
20 代女性	多治見のことで知らなかったことが多かったと気付けた。駅周辺の整備の

	ことも聞くことができて多治見の今後のこともわかり良かった
30代女性	年代別の意見交換の場があればもっと良い案が出そう。とても良い討議会であった
40代女性	実行委員の尽力で、私たち市民の生活の質の改善に繋がっていることを知った。感謝。今は関わるできないが、時間に余裕ができれば恩返しをしたい
40代女性	参加できなかった人たちこそが一般的な市民かも知れない。参加できなかった対象者からもアンケートなどで意見を求めても良いのではないか
40代女性	発表の後、質問を受けてくれると、内容がより理解できると思う
50代女性	自身の多治見を見る切り口が変わった、ありがとうございました
60代女性	多治見での活動内容を市内に住んでいても知らないことがあった。情報を沢山得ることができた

※設問 1、5 が 100% を超えているのは複数回答者がいたためです

